

2021年9月8日

クールジャパン機構

(株式会社海外需要開拓支援機構)

人工構造タンパク質素材を用いた事業を展開する 「Spiber」への追加支援について

クールジャパン機構は、人工構造タンパク質素材を開発・生産するベンチャー企業、Spiber（スパイバー）株式会社（本社：山形県鶴岡市、取締役兼代表執行役 関山 和秀、以下、Spiber）に対し、米国での量産化に向けた成長資金の提供等の追加支援を行うべく、総額 110 億円（うち増資引受分 100 億円*）の出資を決定しました。

Spiber が開発・生産する人工構造タンパク質素材「プリュード・プロテイン™」はクモ糸の遺伝子情報をベースにしており、繊維をはじめとする様々な素材への加工が可能で、石油に頼らない次世代のサステナブル素材として注目されています。クールジャパン機構は 2018 年、日本発の新素材を活用したもののづくりを世界のファッション・アパレル市場に発信するため、Spiber に出資しました。

その後、Spiber はアパレルブランド「The North Face」を展開する株式会社ゴールドウインとの共同開発製品を販売するとともに、世界的なデザイナーブランド「sacai」、「YUIMA NAKAZATO」とのコラボレーションを実現しています。また、グローバルでの本格的な量産体制構築に向けて、2020 年 10 月には米国の穀物プロセッサ大手「Archer Daniels Midland Company」（ADM 社）と協業するとともに、2021 年 3 月にはタイの量産プラントの試運転を開始し、年内の商業生産開始を予定しています。

このたびのクールジャパン機構の増資引受 100 億円は、Spiber による総額 344 億円の資金調達の一環として行うもので、米投資ファンドのカーライル・グループや、Fidelity International、Baillie Gifford 等も同時期に出資を行います。資金は ADM 社と進行中の米国の量産プラントの建設や研究開発・紡糸設備の整備のために活用されます。これにより、Spiber はものづくりベンチャー企業の成長過程としてハードルが高いとされる事業化ステージから産業化ステージへの移行を視野に、大規模量産に向けて着実に前進することになります。

クールジャパン機構は、本件出資により、「サステナビリティ」が最重要課題の一つとなっているファッション・アパレル業界において、日本発サステナブル素材を活用した製品が世界中の消費者に発信される

ことを目指します。

参考) クールジャパン機構プレスリリース (2018年11月28日)

「日本発次世代繊維素材を用いたアパレル事業へ出資」

https://www.cj-fund.co.jp/files/press_181128-1.pdf

*出資決定した110億円のうち10億円は、既存株主との協議の結果、株式の取得について決定したものの。

本資料についてのお問合せ先：

クールジャパン機構 (広報担当：相川、田中) TEL 03-6406-7500

ホームページ (<https://www.cj-fund.co.jp/>)